

最近の管内経済概況

(2025年3月の経済指標を中心として)

～ 緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、持ち直しの兆しがみられる。
- 個人消費は、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している。
- 観光は、改善が続いている。
- 公共工事は、減少した。
- 住宅建設は、持ち直しの兆しがみられる。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱含んでいる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも減少した。

全体として、管内経済は、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

2025年5月21日

照会先： 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L： 011-709-2311 内線 2525

E-mail： bzl-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

管内経済概況判断の推移

(2025年5月現在)

発表月	2024年12月	2025年1月	2月	3月	4月	5月	前月との判断比較
総括判断	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	<u>緩やかに持ち直している</u> (↗)	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→
生産活動	<u>持ち直しの兆しがみられる</u> (↗)	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	→
個人消費	改善の動きに足踏みがみられる	改善の動きに足踏みがみられる	改善の動きに足踏みがみられる	<u>一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している</u> (↗)	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	→
観光	改善している	改善している	改善している	<u>改善が続いている</u> (↗)	改善が続いている	改善が続いている	→
公共工事	減少した	<u>増加した</u> (↗)	増加した	増加した	<u>減少した</u> (↘)	減少した	→
住宅建設	低下している	<u>持ち直しの兆しがみられる</u> (↗)	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	→
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	→
雇用動向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	→
企業倒産	件数、負債総額とも増加した	件数は減少、負債総額は増加した	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも減少した	↘

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

↗ 上方修正 → 据え置き ↘ 下方修正

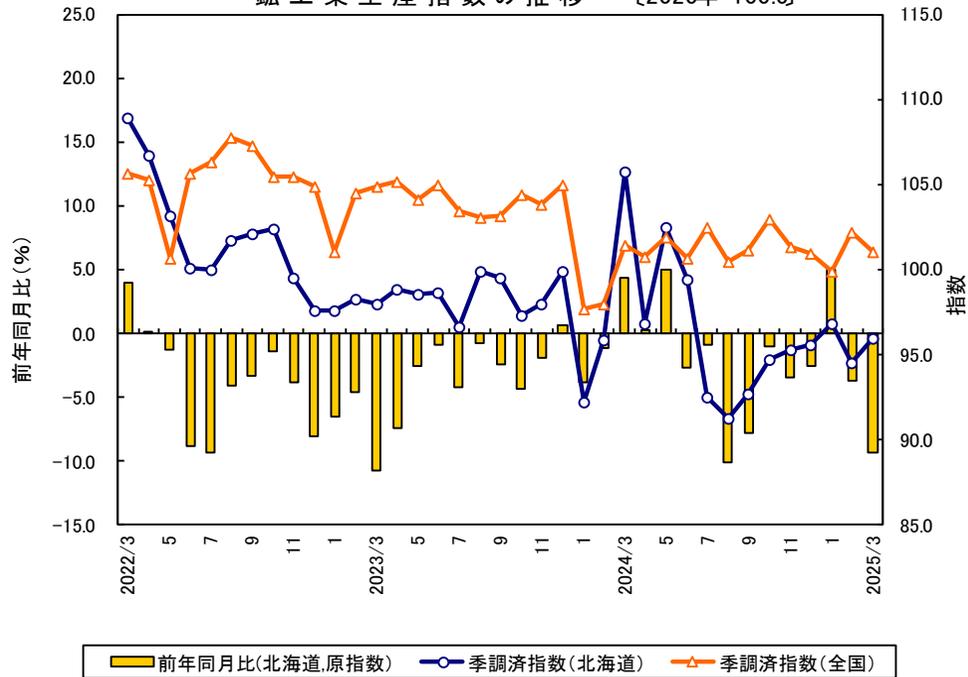
生産活動 ～ 持ち直しの兆しがみられる ～

3月の鉱工業生産は、前月比+1.6%と2か月ぶりに上昇した。前年同月比は▲9.3%と2か月連続で低下した。上昇業種は、一般機械工業など9業種となった。低下業種は、金属製品工業など4業種となった。

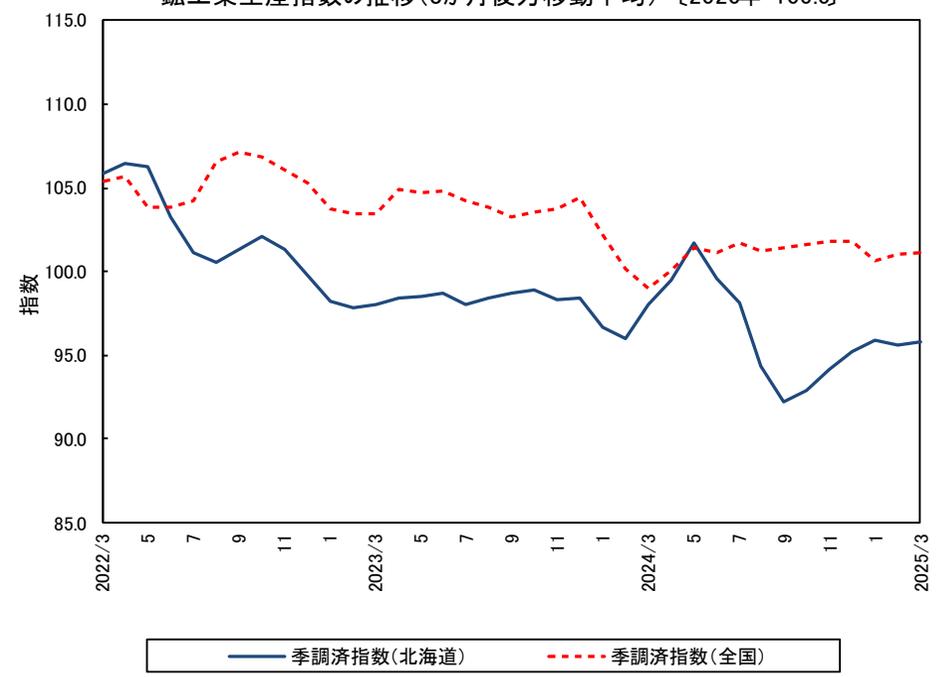
<3月> 季節調整済指数 北海道（速報） 96.0（前月比+ 1.6%） 全国（速報） 101.1（前月比▲ 1.1%）	
---	--

	業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	主な品目
上昇 9業種	一般機械工業	+ 14.0	▲ 26.2	一般機械
	窯業・土石製品工業	+ 7.9	▲ 4.1	生コンクリート
	電気機械工業	+ 2.4	+ 12.1	電子部品
低下 4業種	金属製品工業	▲ 2.6	▲ 52.3	鉄骨

鉱工業生産指数の推移 [2020年=100.0]



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均) [2020年=100.0]



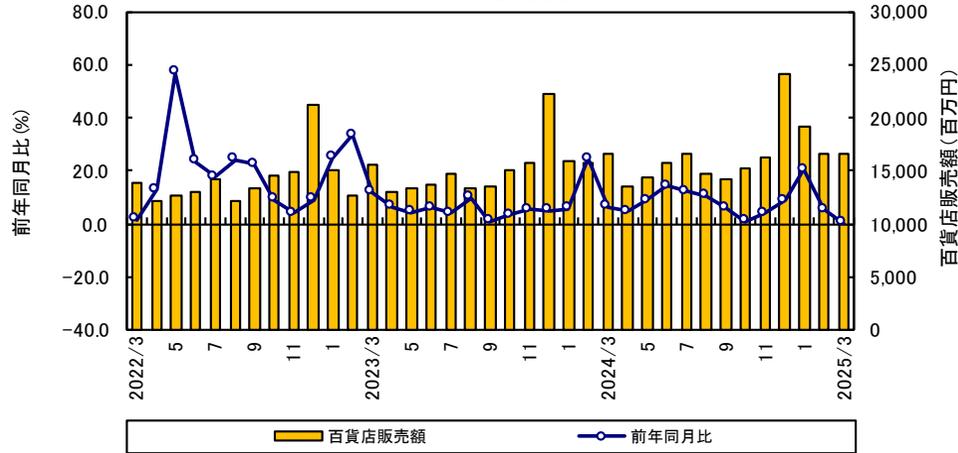
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している ～

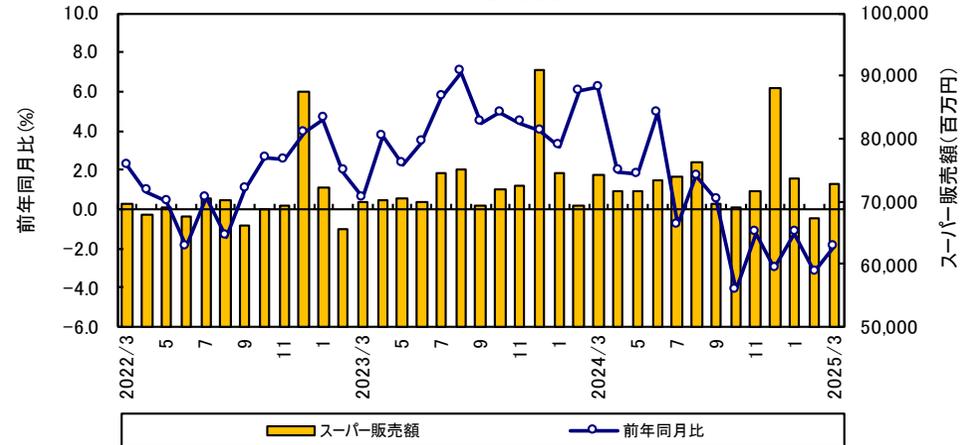
3月の個人消費は、スーパー、ホームセンターが前年を下回ったものの、他の5業態は前年を上回った。

- 百貨店は、高級ブランドの商品の売上げが好調で、前年同月比+0.1%と37か月連続で前年を上回った。
- スーパーは、買上点数の減少や低価格帯の商品への移行などから、同▲1.9%と6か月連続で前年を下回った。
- コンビニエンスストアは、同+3.4%と6か月連続で前年を上回った。

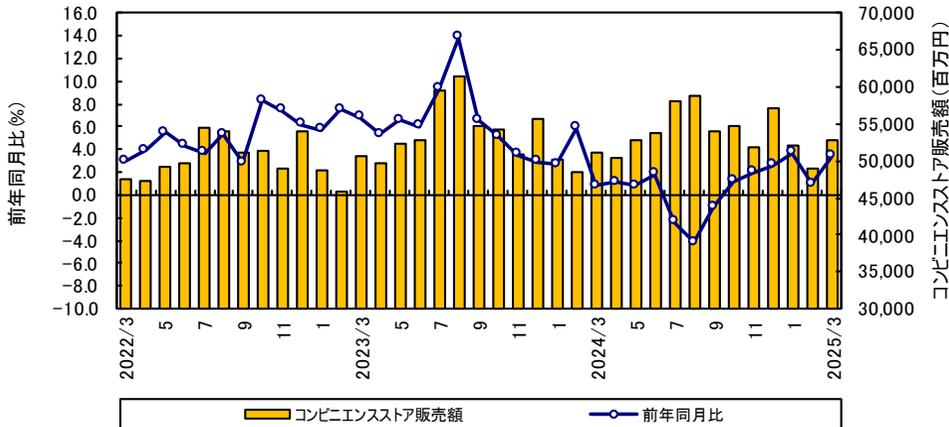
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移



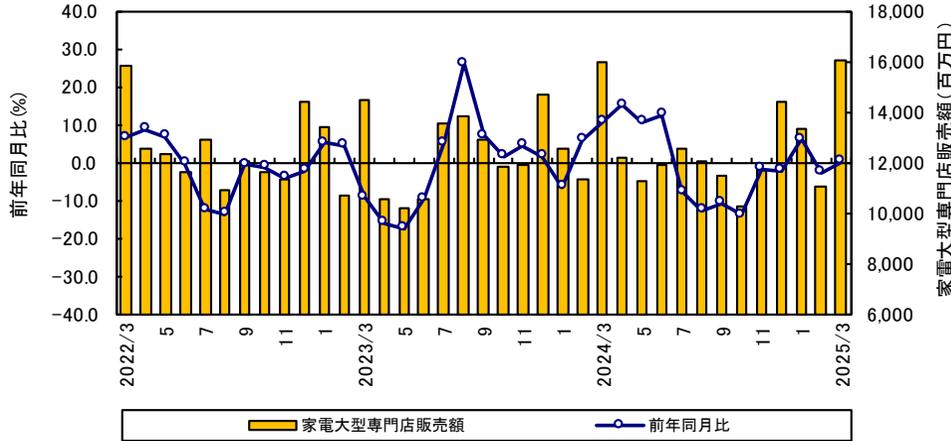
【ヒアリング内容】

- インバウンド客による高級ブランドの売上げは前年を上回ったほか、催事が好評で菓子類の売上げが好調だった。一方で、天候要因から春物衣料の売上げが前年を下回った。(百貨店)
- 値上げの影響を受け、買上点数が減少した。また、プライベートブランドの商品の売上げが伸長しており、低価格帯の商品への移行がみられた。(スーパー)
- 他の商品と比較し値上げの幅が小さく、一人暮らし世帯や共働き世帯への需要がある冷凍の米飯、麺類、そう菜、野菜が伸長した。(コンビニエンスストア)

(資料：北海道経済産業局)

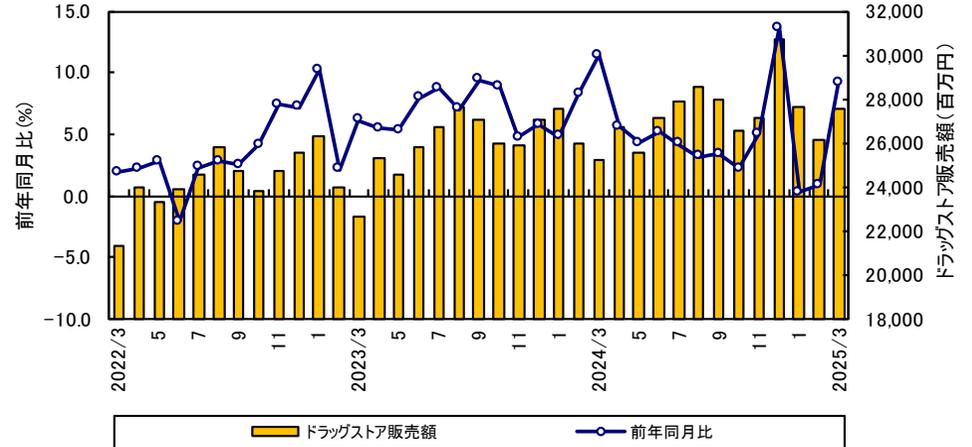
- ・家電大型専門店は、同+0.4%と2か月ぶりに前年を上回った。ドラッグストアは、同+9.1%と33か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲1.6%と6か月連続で前年を下回った。
- ・新車販売は、同+2.9%と3か月連続で前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



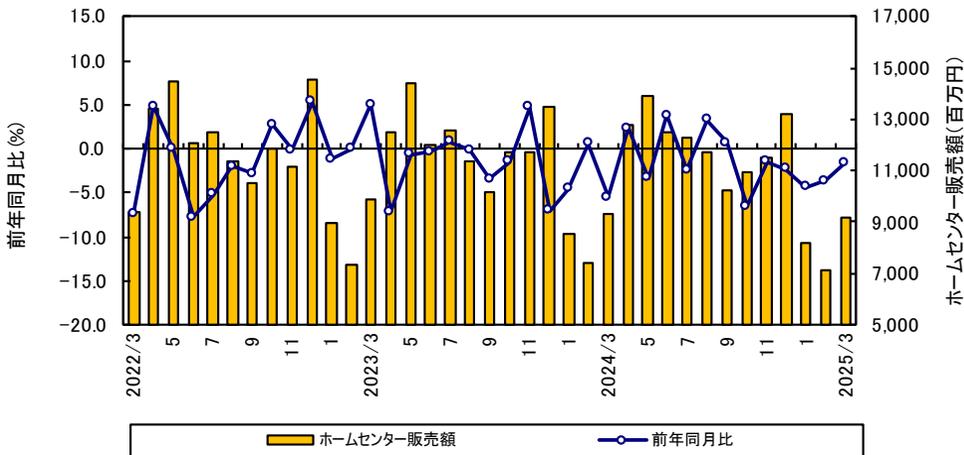
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

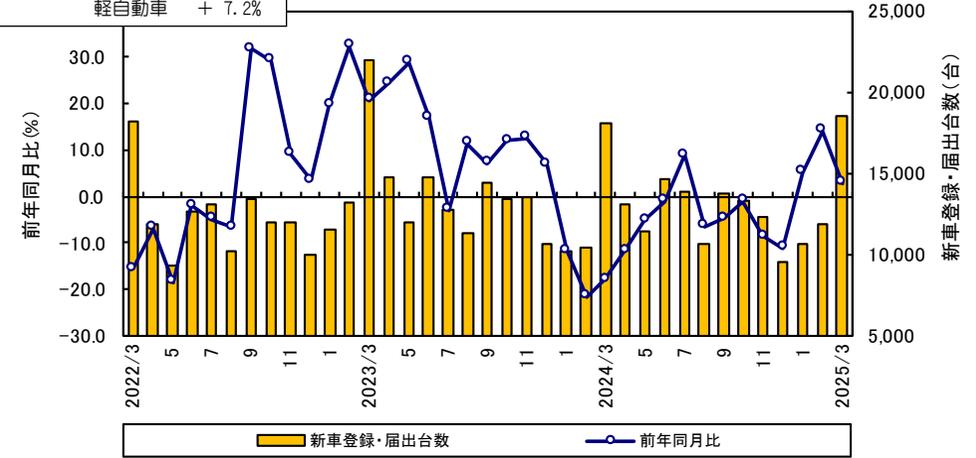
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

<3月> 普通乗用車 ▲4.9%
小型乗用車 +15.9%
軽自動車 +7.2%

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

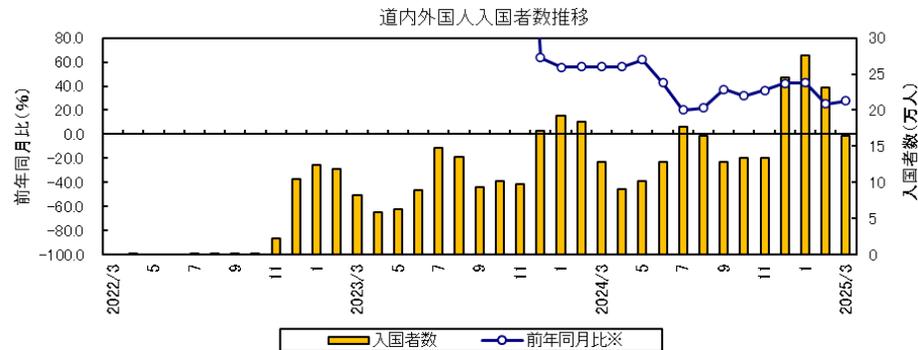
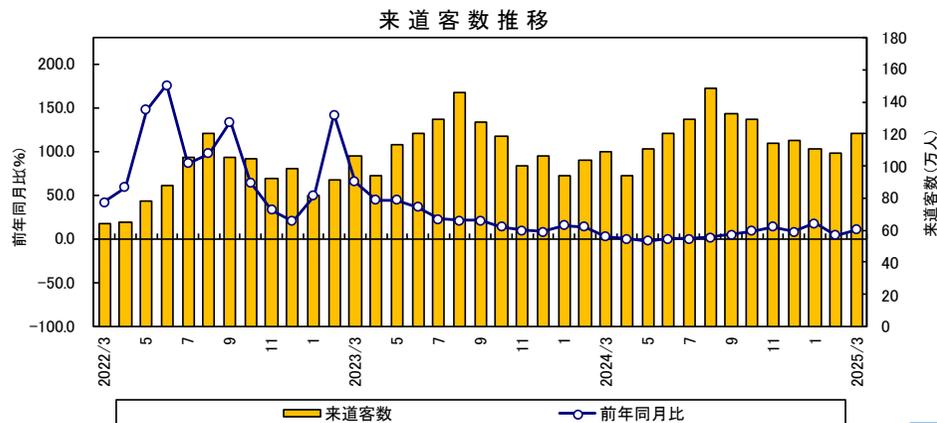
【ヒアリング内容】

- ・前年売上げをけん引していたエアコンの反動減が引き続きみられたものの、売上げは前年を上回った。(家電大型専門店)
- ・インバウンドの客数、売上げは前年を上回った。一方で、国内客は値上げによる買上点数の減少がみられた。(ドラッグストア)
- ・客数が減少したほか、値上げによる買上点数の減少や低価格帯の商品への移行がみられた。また、前年値上げ前の駆け込み需要が発生したトイレトーパーなどでは反動減がみられた。(ホームセンター)

観光 ～改善が続いている～

3月の来道客数は、前年同月比+10.8%と10か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+27.6%と33か月連続で前年を上回った。

<3月> 入国者数 164,204人(+27.6%)



(資料：法務省) ※2022/7及び9、2023/4及び7～11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していない。

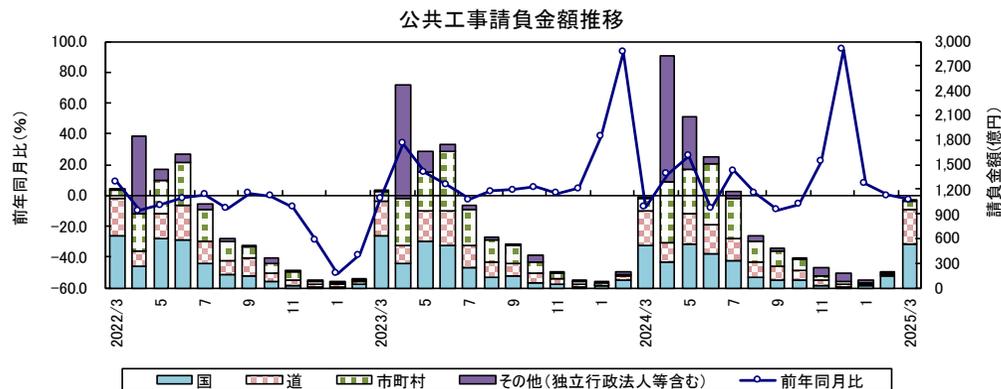
<3月> 来道客数 1,204,414人(+10.8%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光機構)

・卒業旅行シーズンのため若い方が多くみられた。宿泊数も前年同月と同程度か若干多くなっている。また、前年に比べ日本人よりインバウンドの比率が高くなっていると感じる。(観光協会)

公共工事 ～減少した～

3月の公共工事請負金額は、国、その他は前年を上回ったが、道、市町村は前年を下回り、前年同月比▲2.5%と2か月連続で前年を下回った。



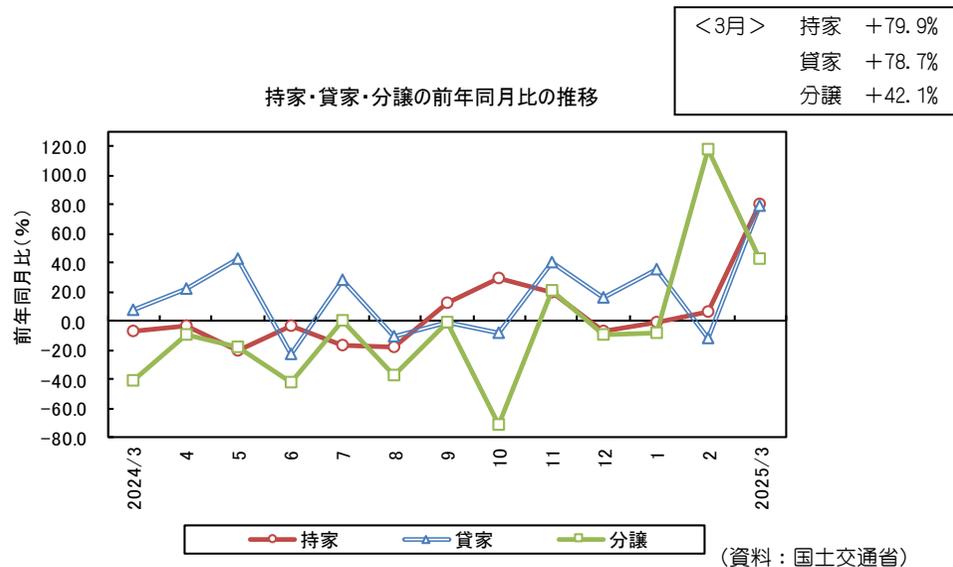
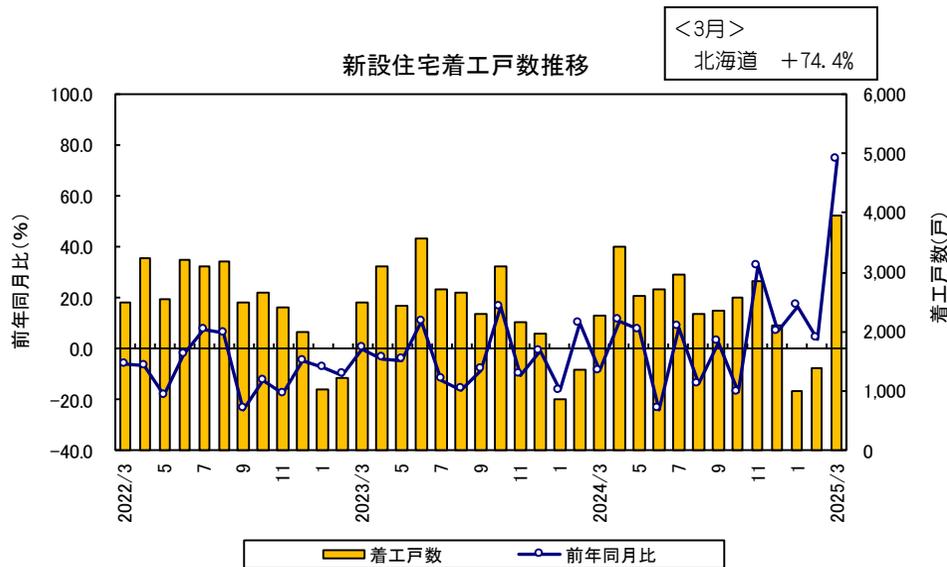
<3月>
 北海道 ▲2.5%
 (内訳)
 国 +4.3% 道 ▲0.3% 市町村 ▲36.9% その他 +53.3%

※請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 持ち直しの兆しがみられる ～

3月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲全てで前年を上回り、前年同月比+74.4%と5か月連続で前年を上回った。



民間設備投資 ～ 増加している ～

2024年度の設備投資計画は、全体で前年度比+24.7%と3年連続で前年度を上回った。
なお、2025年度は前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2025年4月1日発表

	2024年度	2025年度
北海道	+ 24.7%	▲ 7.8%
製造業	+ 26.2%	▲ 6.2%
非製造業	+ 24.1%	▲ 8.6%
全国	+ 8.1%	+ 0.1%

※土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

※北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2025年3月12日発表

	2024年度	2025年度
全産業	+ 16.5%	+ 5.0%
製造業	+ 19.6%	▲ 4.9%
非製造業	+ 15.2%	+ 13.0%

※数値は対前年比増減率。

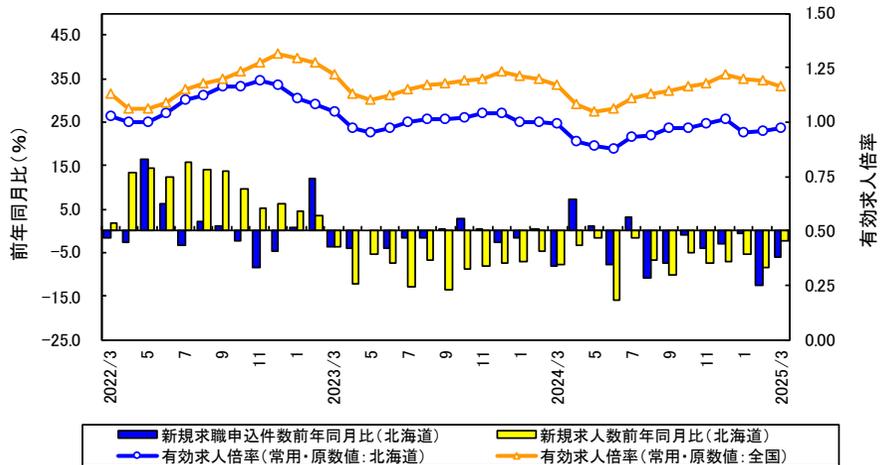
※ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

3月の有効求人倍率は、0.97倍と前年同月差0.02ポイント低下し、24か月連続で前年を下回った。

有効求人倍率・新規求職・新規求人件数の推移



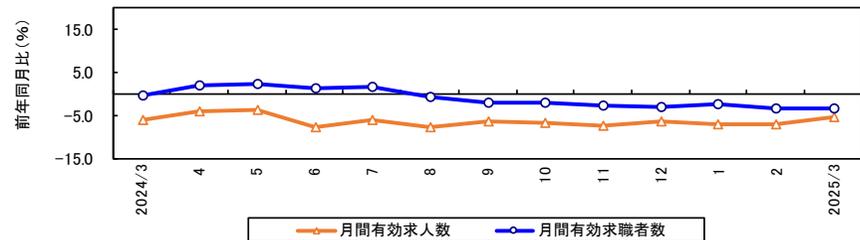
<3月>

北海道 有効求人倍率(常用・原数値) 0.97倍
新規求人件数(前年同月比) ▲2.4%
新規求職申込件数(前年同月比) ▲6.0%
全国 有効求人倍率(常用・原数値) 1.16倍

<3月>

月間有効求人数(前年同月比) ▲5.2%
月間有効求職者数(前年同月比) ▲3.2%

月間有効求人数・月間有効求職者数の推移

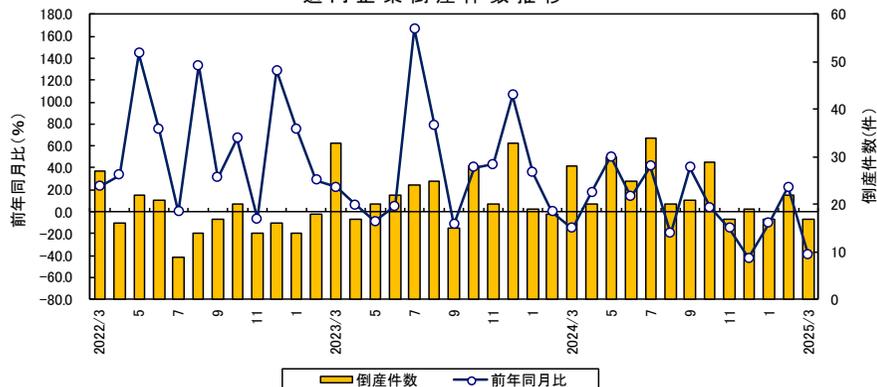


(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

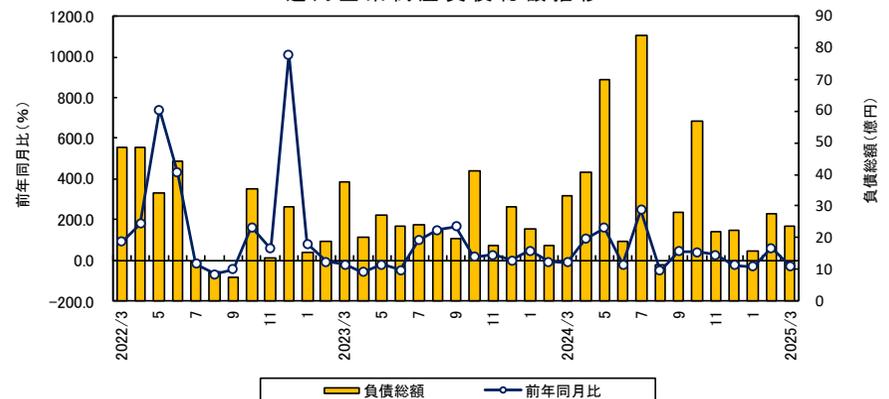
企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少した ～

3月の倒産件数は17件で、前年同月比▲39.3% (11件減) と2か月ぶりに前年を下回った。また、負債総額は23.5億円で、同▲29.3%と2か月ぶりに前年を下回った。

道内企業倒産件数推移



道内企業倒産負債総額推移



(資料: (株)東京商工リサーチ)